


11月の緊急救急当番医はつぎのとおりです（変更になる場合があります）

江別市 診療時間は各病院へお問合せください。						岩見沢市内の緊急救急当番医について	
日	曜日	《内科系》		《小児科系》		《外科系》	
1	日	たぐち内科クリニック 元町21-12 ☎011-389-7855	-	-	溪和会江別院 野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111	※岩見沢市内の緊急救急当番医は ①岩見沢医師会のホームページ ②新篠津消防署 ☎0126-57-2034 ③新篠津村役場（当直）☎0126-57-2111 で直接ご確認ください。	
3	祝	溪和会江別院 野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111	あずま子ども家庭クリニック	野幌住吉町25-10 ☎011-385-2500	江別市立院 若草町6 ☎011-382-5151		
7	土	-	-	-	溪和会江別院 野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111		
8	日	はまもと内科クリニック 上江別東町4-7 ☎011-788-7636	-	-	溪和会江別院 野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111	救急安心センターさっぽろについて	
14	土	-	-	-	谷藤病院 幸町2-2 ☎011-382-5111	※急な病気やケガで、救急車を呼ぶか、医療機関を受診すべきか迷ったときは、救急安心センターへお電話をしてください。受付員や看護師が症状に応じて、119番への転送や医療機関の受診案内、応急手当などの助言を行います。（24時間365日利用できます）	
15	日	上江別内科胃腸科クリニック 上江別427-1 ☎011-381-1188	とがし小児科	野幌松並町25-2 ☎011-385-0150	谷藤病院 幸町2-2 ☎011-382-5111		
21	土	-	-	-	江別市立院 若草町6 ☎011-382-5151		
22	日	江別市立院 若草町6 ☎011-382-5151	江別市立院	若草町6 ☎011-382-5151	江別市立院 若草町6 ☎011-382-5151		
23	祝	あくの内科胃腸科クリニック 野幌町26 ☎011-381-0501	-	-	溪和会江別院 野幌代々木町81-6 ☎011-382-1111		
28	土	-	-	-	谷藤病院 幸町2-2 ☎011-382-5111		
29	日	江別内科クリニック 元江別本町35-2 ☎011-381-8900	おおあさ鈴木ファミリークリニック	大麻扇町3 ☎011-386-5303	谷藤病院 幸町2-2 ☎011-382-5111	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>#7119 救急安心センターさっぽろ または 011-272-7119 24時間365日対応</p> </div>	

11月5日は「津波防災の日」です

2011年3月に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）による甚大な津波被害を踏まえ、同年6月に制定された「津波対策の推進に関する法律」において、広く津波対策についての理解と関心を深めることを目的として、毎年11月5日を「津波防災の日」と定めています。

1854年11月5日に発生した安政南海地震では、中部地方から九州地方の太平洋沿岸を津波が襲いました。紀伊国広村（現 和歌山県有田郡広川町）では、15世紀初頭に築かれた波除石垣を乗り越えて、高さ約5メートルの大津波が村を襲い、背後の田んぼに浸入しました。

広村出身で、ヤマサ醤油7代目であり、広村に私設の稽古場「耐久舎」（現在の和歌山県立耐久高等学校）を開設していた濱口梧陵は、偶然広村に戻っていましたが、海水の引き方、井戸水の急退などにより、大津波が来ることを予期し、田んぼの稲むらに火を放って、暗闇の中で逃げ遅れていた村人を高台にある広八幡神社の境内に導き、多くの村人を救った「稲むらの火」という逸話が残っています。

津波防災の日とは、大きな津波被害をもたらした、「稲むらの火」のモデルにもなった、安政南海地震の発生した日に因んだものです。

気象庁では、ホームページに地震・津波のビデオ、パンフレットを掲載したサイトを設けて、津波発生と伝播のしくみや津波防災啓発ビデオの情報を掲載しています。この機会に地震や津波災害に対する備えについて考えてみませんか。

「地震・津波のビデオ、パンフレット」に関するサイトのURL

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/eq/>

○問合せ先／札幌管区気象台地震火山課 ☎011-611-6125